

**東京藝大×JR 東日本 上野駅「CREATIVE HUB UENO "es"」
椎野倫奈 個展「都市の森」開催のお知らせ**

《黄色い葉》2024、紙本彩色

JR 上野駅構内の「CREATIVE HUB UENO "es"」(2024 年 4 月開設)では、東京藝大の各科より推薦されたアーティストの展示を開催しています。第 4 回は、2021 年に東京藝術大学大学院美術研究科 博士後期課程を修了した日本画家・椎野倫奈(しいの りな)の個展「都市の森」を 8 月 6 日(火)から 9 月 8 日(日)まで開催します。

本展はギャラリー初の日本画展です。「都市の森」と題し、東京の街路樹をモチーフに描いた新作の風景画を展示します。

雪に代わり暖かな春の雨が降りそそぎ、寒さに固くなっていた大地がうるおう情景、夏の始まりの新緑が生い茂る風景や日差しの強さ一。椎野は自身の作品を「素気ない」と表現しながら、日々の暮らしのなかで感じる小さな自然やその変化のなかで得た小さな幸せを絵のなかに埋め込んでいくことで、独自の視点で表情豊かな「都市の森」を描き出しています。

※オープン初日 8 月 6 日(火) 16 時よりアーティストが在廊します。来場者のみなさまへの作品解説やプレス対応も可能ですのでぜひご来場ください

□主な展示作品

《黄色い葉》2024 年、紙本彩色(岩絵具、水干、墨、胡粉、土佐麻紙、パネル)、910×727mm

《テニスコート》2024 年、紙本彩色(岩絵具、水干、墨、胡粉、土佐麻紙、パネル)、227×158mm

《木の根》2024 年、紙本彩色(岩絵具、水干、墨、胡粉、土佐麻紙、パネル)、273×220mm

□推薦者のコメント

東京は世界の大都市の中でも多くの緑が点在する街だという。

整然と続く街路樹。ビルの一角の植栽。寺社の桜並木。横町の鉢植え。

都会の生活の片隅にある見慣れた緑の一瞬の光景が、

鋭敏で優しいまなざしにより永遠の時間を孕んだ「森」へと変貌する。

椎野の視線は、ささやかなドラマの気配をそっと何気なく画面に定着させる。

東京藝術大学 美術学部 絵画科日本画専攻 教授 齋藤典彦

<開催概要>

□展示会名：椎野倫奈 個展「都市の森」

□会期：2024 年 8 月 6 日(火)～9 月 8 日(日)

□休場：月曜定休(祝日の場合は翌日に振替) □夏季休業：8 月 13 日(火)～15 日(木)

□時間：11:00～19:00(最終入場 18:45) □入場：無料 □ウェブサイト：<https://ueno-es.jp/>

□会場：CREATIVE HUB UENO "es" 東京都台東区上野 7-1-1(上野駅浅草口付近)

■椎野倫奈（しいの りな） | 作家プロフィール



2021 年 東京藝術大学大学院美術研究科 博士後期課程 修了

主な展示

2020 年 レスポワール展個展(銀座スルガ台画廊)

2019、2021～2023 年 創画展（東京都美術館）入選作品として展示

□過去の作品



《杜の径》2021 年、
紙本彩色（岩絵具、水干、墨、胡粉、土佐麻紙、パネル）

「私が都市の杜を使って描き出そうとしているのは、一本一本の木というよりも、空や地面などの”場“である。木や建造物のシルエットによって現れ出る空や地面の形、空気、重力など。物と物との間に様々な情報を込めることが、自身の制作衝動になっている。」（博士論文「囲いの森：有機の形と色」、2021 年）



《出現》2018、
紙本彩色（岩絵具、水干、墨、胡粉、土佐麻紙、パネル）

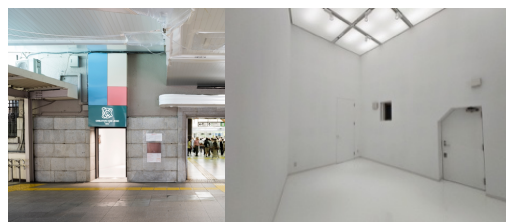
「出現」というタイトルは、画面中央に突如現れる噴水を表しています。

■CREATIVE HUB UENO “es”とは

東京藝大と JR 東日本の包括連携協定の第一弾として、上野駅の交番跡地をリノベーションし誕生したギャラリーです。

東京藝大の学生・卒業生の若手アーティストの作品を展示し、時代を映し出す芸術作品に触れ合う機会をつくります。また、上野駅全体を美術館に見立て、駅構内に点在するアート作品等をご案内し、多様な文化交流の場を創出していきます。

ギャラリー名の“es”（エス）とは、心理学用語で「無意識の領域」を指し、多様な欲望やエネルギーを内在し、小さくとも無限の表現領域を体現できるスペースを目指して命名しました。



【このプレスリリースのお問合せ】 CREATIVE HUB UENO “es” 運営事務局

東京都千代田区 6-12-5 長谷川ビル 2 階 東京ビエンナーレ事務局内

電話：03-5816-3220 メール：info@ueno-es.jp（担当：穴戸・森田）